

鎌倉街道上道を歩く 第2回

＜西武国分寺線小川駅～JR南武線分倍河原駅＞

距離約 11.5km

1. 日時 2015年2月26日(木)
雨天の場合は 3月5日(木)
2. 集合場所 所沢駅 ホーム中央階段下
3. 出発時間 9時18分(5分前には集合して下さい)
4. 昼食 11:40頃 西国分寺夢庵
5. 帰着予定時間: 所沢駅 16:00



コースガイド

- ① **鎌倉街道道路標識** : 単なる道路標識ですが、見つけると嬉しいものです。
- ② **鎌倉街道解説板** : 言い伝えでは、小平市域に入ってからの鎌倉街道の脇で、まいまいず井戸が二ヶ所あったとされます。その跡は探れないのですが、ブリヂストン東京工場の敷地内と津田塾大学東側の畑地と思われます。その周り一帯に地下から掘り出された色の変った小石が散在しています。
- ③ **小川用水** : 東大和市駅の南 500m 位の玉川上水に小川橋があります。小川用水は小川橋で玉川上水から分水された用水です。小平にはこのような用水がいくつか残っています。本家の玉川上水は玉川上水駅近くの取水場から先は下水を処理した再生水だが、農業用水として使用されることもあってここに流れているのは多摩川の水だそうです。
- ④ **玉川上水** : 江戸の飲料水不足を解消するため総奉行松平伊豆守の下で玉川兄弟が 6000 両で請負った。最初は日野から次は福生から取水しようとしたがいずれも失敗、三度目の羽村からの工事の途中で資金が尽き私財を投じて工事を続け完成した。現在水は狭山湖、多摩湖に貯水されている。残りの水は玉川上水駅近くの取水口からは東村山浄水場に送られており、ここからは「清流復活事業」によって少量の水を流しているのみです。
- ⑤ **ふれあい下水道館** : 鎌倉街道とは何の関係もありませんがトイレ休憩も兼ねて見学しましょう。(25 分間の予定) 地下 5 階では実際の下水道内部が見学できます。そして 2015 年 3 月 29 日まで私の好きなマンホールの蓋の写真展示も行われています。
- ⑥ **熊野神社** : 和歌山県熊野の大神を勧請したもの。新田義貞の鎌倉攻めの際、兵火により消失したため由来や創建年代は分から

ない。応永年間（1394）に社殿を再建。社殿の北側に文明 18 年（1486）に聖護院門跡の道興准后*が廻国雑記の中で詠んだ

朽ちはてぬ 名のみ残れる恋ヶ窪

今はた訪のふ地記り(契り)ならずや

という歌碑があります(名のみ残れる恋ヶ窪については次の東福寺の項で)。

また、芭蕉の句碑もあります。

ひょろひょろと なほ露けしや をみなへし

伝承によると鎌倉街道はそのまま南には行かず、熊野神社の北を回ったそうです。

※道興准后：所沢の地名の由来という説がある「野遊のさかなに山の芋そえて ほりもとめたる野老澤かな」と新光寺で詠んだ。

⑦ 東福寺：恋ヶ窪には悲しい恋の話があります。

畠山重忠は菅谷館から鎌倉に赴く時、恋ヶ窪で休憩をとり、遊女夙妻（あさづま）太夫と恋仲になりました。しかし、恋敵の男が重忠は戦死したとの嘘を告げたところそれを悲しんで姿見の池に身を投げてしまいました。村人は夙妻太夫のために松を植えたのですが、その葉は不思議にも一葉の松になったそうです。この物語から村名が起こったと『新編武蔵風土記稿』、『武蔵野話』に記されていますが、国府が窪から訛ったものとする説もあります。



二代目一葉の松

市文化財資料展示室

東福寺には、松の葉が一枚で枝から出ているという三代目の一葉の松があり、その脇に傾城の墓があります。さて、本当に一葉の松か調べて見ましょう。三代目の松では無理かな？

後に夙妻の死を悼んだ重忠が、その菩提を弔って阿弥陀堂を建てたと伝えられている。本堂わきの坂道は阿弥陀坂と呼ばれています。

- ⑧ **夢庵**: 予定では東福寺の後に夢庵で昼食です。5%引きのカードがありますので忘れずに。

日替わりランチ: 614円(本体599円)、
週替り焼き魚ランチ: 922円(899円)
他



- ⑨ **恋ヶ窪用水** (恋ヶ窪村分水): 国分寺村、恋ヶ窪村、貫井村の田に利用するために、玉川上水から分水してつくられたもので、現在はそれを復元した物があります。

- ⑩ **姿見の池**: 夙妻太夫が入水したと言われる池ですが、ここで東山道武蔵路の遺構が発掘されています。池のそばには東山道武蔵路の解説板があります。



下見で訪れた時にはアオサギがいて、2m位に近づいても逃げないので作り物かと思いました。人に慣れている様子からするといつもここにいるのかもしれませんが。



- ⑪ **東山道武蔵路**: 一昨年行った所ですが、東山道武蔵路の道路復元模型を見落としたので再訪しましょう。復元模型は中央線を挟んで姿見の池の反対側にあります。



⑫ 伝鎌倉街道

切り通しの道が鎌倉街道らしい風情を残しています。ただ、国分尼寺の真ん中を突っ切っていることと府中街道と鋭角に交わる、ことから鎌倉街道ではないという説もあります。

- ⑬ **国分寺跡**：分倍河原の合戦で一端は敗北した新田義貞は堀兼あたりまで退却します。その時に国分寺に火をかけて焼いていますが、後に 300 両を寄進して薬師堂を建てます。なお、現在の薬師堂は江戸時代に建てられたものです。

この後、鎌倉街道は国分尼寺跡から真直ぐ東芝工場の中に入っていきます

⑭ 東芝ソリューション塚状遺構

鎌倉街道の推定地の近くに塚上の遺構（東芝ソリューションの構内）があります。近年の調査では 1400～1500 年頃の修法壇跡だと分かりました。新田義貞の頃の物ではないようです。

ここから府中街道に戻ります。

府中街道も鎌倉街道です。東芝府中工場のボーナスを奪った 3 億円事件の舞台の府中刑務所を横目で見ながら歩きましょう。

- ⑮ **下河原緑道**：ここは国鉄下河原線の跡です。下河原線は当初、多摩川の砂利採取の目的で作られましたが、一旦廃止となった。その後国分寺から東京競馬場への旅客線と下河原（京王線中河原駅南東）への貨物線として運行されていました。

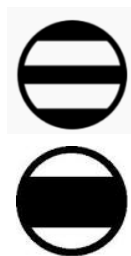
- ⑯ **高安寺**：ここは武蔵の国司として赴任したとされている藤原秀郷^{*}の屋敷だった場所で、そこに見性寺が建立されたとされています。その後、足利高氏（のちに後醍醐天皇の諱・尊治をもらって尊氏とした）が安国寺として再興した寺で、高氏の高を取って高安寺としたと言われている。本堂、山門、鐘楼は東京都により歴史的建造物に指定されています。

山門の裏には奪衣婆（だつえば）の像がある。奪衣婆は、三

途川の渡し賃である六文銭を持たずにやってきた亡者の衣服を剥ぎ取る老婆の鬼です。奪衣婆が剥ぎ取った衣類の重さにはその者の生前の業が現れ、その重さによって死後の処遇を決めるとされます。俗説だが奪衣婆は閻魔大王の妻であるという説もある。



高安寺の紋には足利氏の二両引きが用いられています。なお、新田氏の紋は大中黒（一両引き）という紋で、新田氏の一族の大館氏（小手指に多い）の紋も大中黒です。



本堂の西奥へ回ると**秀郷稻荷**が祀られており、その脇を下ると**弁慶硯の井**があります。頼朝に鎌倉入りが許されなかった義経は京に帰る途中弁慶らとここ見性寺で大般若経を写したというその時に水を汲んだ井戸。

※ **藤原秀郷**：平将門追討の功により従四位下に昇り、下野・武蔵二ヶ国の国司と鎮守府将軍に叙せられ、勢力を拡大。死後、贈正二位を追贈された。源氏・平氏と並ぶ武家の棟梁として多くの家系を輩出した。

⑰ **善明寺**：国指定の重要文化財の建長 5 年（1253）に作られた阿弥陀鉄仏座像その胎内にあった阿弥陀鉄仏立像があります。この仏像は夙妻太夫の菩提を弔うために作られたという伝説があります。もし、皆さん元気満々であれば行きますが今回は見送りましょう。

⑩ 分倍河原駅

駅前に新田義貞の騎馬像がある分倍河原駅が今回の終点です。

~~~~~  
次回は、新田義貞の鎌倉攻めの決戦場となった分倍河原古戦場跡を  
通って町田市に入ります。